

1 麦類の栽培について

11月下旬から3月上旬までの平均気温は平年に比べてやや高く、降水量はかなり少なく推移しました。11月20日に播種されたビール大麦の莖立期は3月9日（平年：3月6日）と平年と比べてやや遅れました。気象庁季節予報（2月25日発表）によると、4月の気温は「平年並」または「高い」確率40%、降水量は「少ない」確率40%と予想されています。今後気温が平年より高く推移した場合、出穂期は平年（4月5日）より早まる可能性があります。明きよの点検・補修や赤かび病防除を徹底し、高品質麦の生産に取り組みましょう。

① 排水対策

登熟期の湿害は根の活性を落とし、粒の充実不足を招きます。

- ・圃場の排水溝の溝さらいをしましょう。
- ・まだ設置していない圃場は、周囲に排水溝を掘りましょう。
- ・排水口は排水溝よりも低く掘り下げて、圃場外の排水路につなぎましょう。

② 赤かび病防除

赤かび病は出穂期以降に気温が高く、降雨が続くと発生の可能性が高くなります。また、不稔粒発生や登熟期の連続降雨等は発生を助長する恐れがあります。赤かび病が発生すると出荷できなくなるため、必ず薬剤散布を行いましょう。

麦種	防除適期	多発のおそれがある場合 (不稔粒発生や登熟期連続降雨など)
二条大麦 (ニューサチホゴールデン、もち絹香)	穂揃い期7～10日後	1回目散布の7～10日後に 2回目散布
小麦	1回目：開花始め（出穂期の7日後） 2回目：1回目散布の20日後	3回目散布

⚠ 不稔の発生を助長する主な気象条件

- ・出穂期8～10日前の低温（-1℃～-1.5℃に3～4時間遭遇）
- ・出穂期前後の降霜
- ・出穂期前後に25℃以上の高温に遭遇

2 水稻の栽培について

●未消毒種子を購入した場合は種子伝染性病害防除のため、種子消毒を必ず行いましょう。

【種子消毒薬剤の例】

2025年3月7日時点の登録内容

農薬名	適用病害虫	希釈倍数	使用方法	使用回数
テクリードC フロアブル	もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病、ばか苗病、いもち病、ごま葉枯病、苗立枯病（リゾープス菌）、苗立枯病（トリコデルマ菌）	200倍	24時間 種子浸漬	1回
スミチオン乳剤	イネシンガレセンチュウ	1,000倍	6～72時間 浸漬	1回

※農薬はラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を確認して正しく使用して下さい。

【浸種の目安期間】

種子	浸種温度	浸種日数(積算温度)
消毒種子	10～15℃	一般品種、月の光：8～13日（積算温度120～130℃） 夢あおば：4～8日（積算温度60～80℃） ※最初の3日程度は水を交換しない。
未消毒種子		種子消毒実施後、一般品種、月の光：7～12日（積算温度100～120℃） 夢あおば：3～7日（積算温度40～70℃）

(裏面あり)

●播種量

	播種量(g/箱)	箱数(箱/10a)	育苗日数(日)	葉齡(枚)	草丈(cm)
稚苗	乾籾 130 催芽籾 170	20~23	20	2.2~2.5	12~13
半中苗	乾籾 100 催芽籾 130	24~30	25	3.1	13~15
中苗	乾籾 100 催芽籾 130	24~30	30	4.1	15~18

※箱数(最多)は、1株当たり植付本数が4本、栽植密度が坪当たり70株(㎡あたり21株)、安全率120%で計算

※コシヒカリ以外の品種(とちぎの星、にじのきらめき、あさひの夢、月の光、夢あおば)は大粒なので、播種量をとちぎの星・にじのきらめきで1~2割、あさひの夢・月の光で1割、夢あおばで2割程度増やす。

※葉齡は、鞘葉と不完全葉を除く枚数

安定栽培のためのポイント

- ・薄播き (1箱乾燥籾150g以下で、均一に播種)
- ・小苗植え (1株当たり平均3~5本で移植)
- ・20~22株/㎡ (約70株/坪) の栽植密度で移植



イネカメムシの防除を徹底しましょう!

イネカメムシは、出穂期に加害すると稲が**不稔**になります。
また、乳熟期に加害すると基部斑点米で**品質**が低下します。

出穂期 ▶ **不稔で
収量低下**



乳熟期 ▶ **基部斑点米で
品質低下**



防除体系

		出穂期		穂揃期		乳熟初期		乳熟後期	
越冬世代成虫									
第1世代幼虫									
		不稔 予防		斑点米 予防		斑点米 予防			
		薬剤散布 1回目		薬剤散布 2回目		薬剤散布 3回目			
		1週間後		1週間後					
		●不稔防止(出穂期)、斑点米防止(出穂1週間後)の2回 ※発生が多い場合には3回 ●液剤で防除 ●MEP(スミチオン)、エトフェンプロックス(トレボン)、 ジノテフラン(スタークル)等の効果が高い ●水稻収穫後、速やかに秋耕の実施							
		従来からの斑点米カメムシ類対策						生息場所 除去	
除草		除草						収穫後 秋耕	
2~3週間前									